

第3回 JLC の競技に関する Q&A①

【簡易伐倒競技について】

Q1. 固定台のサイズ(直径、高さ)はどのぐらいですか？

A1. 伐倒ステージは 2.7m四方高さ約 4 cmのコンパネステージで、その上に元木部分固定台があります。固定台直径は、最小径60cm～最大径80cm程度の元木部分、高さは20cm鉄ピンの高さは、約9cm、赤ラインは、固定台上部から、18cm程度地上から(ステージコンパネ)から38cmのあたりに赤ラインがあります。

Q2. 固定台は全て同じサイズですか？

A2. 以前写真でご案内したとおり自然原木の元木部分のため、正円ではないため、全てが同じ大きさにはなりません。

Q3. 15m 離れた伐倒方向の杭は、1つの固定台に対して1本ですか？

A3. 伐倒方向の目標の杭は、1つの固定台に対して1本となります。

Q4. マストツリー方式と同様に目標杭の左右の補助杭はありますか？

A4. 簡易伐倒では、左右の補助杭は設置しません。

Q5. 丸太固定台に触れる、足をかける、ひじなどを置く、傷をつけるなどペナルティの対象となど基準はありますか？

A5. 特にペナルティはありません。基本的に固定台は動かないようにしてありますが、固定台に過度に力を加え動いた場合でも、目標の位置は変わりませんので、あくまで自己責任で競技を続けていただきます。

【その他予選会について】

Q6. 予選では何名同時に競技を行いますか？

A6. 予選時の伐倒・合わせ・接地については、競技場を各 3 レーン用意する予定です。完全な同時スタートは、なるべく避けたいと考えておりますが、前述の 3 競技については、同じ会場(駐車場内)で行いますので、最大で 9 名が同時に競技を行う可能性もあります。

Q7. 予選の合せ、接地、枝払いは、どのような場所で行いますか？

A7. 予選時の伐倒・合わせ・接地については、アスファルト(駐車場)の上にコンパネを敷き、その上に各競技に必要な機材を設置します。枝払いは、前回とほぼ同様のステージ(決勝で使用するステージ)で行います。すべての競技とも足場としては、同じ仕様となります。

【その他】

Q8. ヘルメットに関して、使用可能なものの基準はありますか？

A8. 他の資機材と同様、ヘルメットについても国内で通常に販売されている商品が基本となります。また、ヘルメットについては、厚生労働省が定める、飛来・落下物用安全帽(保護帽)の検定合格品であることが第一条件となり、耐用年数については、日本ヘルメット工業会が定める耐用年数(材質によって異なる)を超えたものは使用しないでください。

以上

※上記については、あくまで第3回 JLC においての適用となります。